

【第5学年国語】

理由記述シートと構成メモの活用で、説得力のある意見文を書く

1 指導計画

- 1時間目 提案者の立場と資料を関係付けて読み取り、双方に良さや問題点があることをとらえる。
- 2時間目 話し合い資料を基にして、説得力のある意見文の書き方をとらえ、構成メモを作る。
- 3時間目 立場を明確にした意見文を書き、交流する。

2 指導のポイント

この問題は、アンケート資料や提案資料、さらに話し合い資料を基にして、どちらかの案を採用して意見文を書くものである。ここでは、資料を関係付けて読み取る力や、意見の理由を明確に記述する力、問題点を理解した上で提案する力、段落を構成する力が必要となる。そこで、これらの力を付けるために、次の三つの段階を踏みながら指導に当たりたい。

1 時間目

資料の読み取りをする。まず、話し合いのねらいを確認する。その後、ABそれぞれの案の内容をとらえ、その提案内容がアンケートのどれと関連しているのかを確認する。その後、それぞれに良さや問題点があることをとらえる。さらに話し合い資料から、発言者の話形が「立場の表明」⇒「資料に基づく理由」となっていることを確認する。

2 時間目

読み取った資料を基にして自分の立場を決める。その後、「理由記述シート」を用いて、立場を裏付ける理由を書き出す。A案 B案のいずれにも問題点があることを認めた上で、さらに経験や予想、問題点の解決策を述べる型が説得力につながることを確認する。「理由記述シート」を基にして、「構成メモ」を作成する。

3 時間目

「構成メモ」を用いて意見文を書く。書き終えたら友達と読み合い、文の型や説得力を生む表現に着目して相互評価をする。効果的な意見文の書き方を確認する。

3 各時間の指導

<1時間目>資料を関係付けて読み取り、双方に良さや問題点があることを確認する

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 □評価
<p>話し合いのねらいを確認する</p> <p>※ リード文から、話し合いのねらいを確認する。</p> <p>T 5年2組で話し合いをしています。話し合いのねらいは何ですか。</p> <p><リード文より></p> <p>・学級目標が達成できるような、イベントの内容を話し合うことです。</p> <p>アンケート結果を読み取る</p> <p>T アンケートからどんなことが分かるでしょう。</p> <p><アンケート結果①より></p> <p>・「学級目標を達成できた」と答える人は15人で、①の「一」からは、特ぎを公表したことを理由にしている人が6人いることが分かります。</p> <p>・①の「二」からは、体を動かすことを理由にしている人が5人いるこ</p>	<p>・リード文を読み、話し合いのねらいを確認する。</p> <p>・表の見方を確認する。実態に合わせて、項目や数値の読み方を指導する。</p>

とが分かります。

<アンケート結果②より>

- ・ 「達成できなかった」という人は20人いることが分かります。
- ・ ②の「一」から考えると、運動が苦手な人がいることが分かります。
- ・ ②の「二」から考えると、協力できなかったことを理由にしている人がいることが分かります。
- ・ ②の「三」から考えると、発言が苦手な人がいることが分かります。
- ・ ②の「四」から考えると、やる気があるのに、活躍できなかった人がいることが分かります。

<アンケート結果①②の両方より>

- ・ 「学級目標が達成できた」と答えた人より「達成できなかった」と答えた人の方が多かったです。

A案 B案それぞれの「良さ」と「問題点」をとらえる

T A・Bそれぞれの案には「良さ」と「問題点」があるようです。アンケート結果と関係付けてそれぞれの「良さ」と「問題点」をまとめましょう。

<「A案」について>

- ・ A案の良さは、自分の好きなことを発表できることです。アンケート①の「一」や「三」の意見と関係付けられます。
- ・ A案の良さは、運動が苦手な人も参加できることです。②の「一」や「四」のような意見と関係付けられます。
- ・ A案の問題点は、協力する場が少ないことです。アンケート②の「二」のような「出し物の練習や準備に協力しない人」がいるのに、出し物を提案しているからです。

<「B案」について>

- ・ B案の良さは、体を動かせることです。アンケート①の「二」と関係付けられます。
- ・ B案の問題点は、運動が苦手な人が楽しめないことです。アンケート②の「一」や「四」の意見と関係付けられます。

<双方から考えられることについて>

- ・ どちらも、学級目標を達成するねらいで意見が出されています。
- ・ どちらも、アンケート結果と関係付けて考えられています。
- ・ ②の「一」「四」はどちらの意見とも関係付けられます。

	A案	B案
	室内での遊び	体育館での遊び
良さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特技を発表できる ・ 漫才をできる ・ 伝言ゲームで協力できる ・ 運動が苦手な人でもできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かして仲良くなれる ・ チーム対抗でできる ・ 出し物の準備をしなくてよい ・ はずかしがる人はいない
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かすことができない ・ 準備に協力してもらわなくてはならない ・ 恥ずかしがる人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特技や漫才の発表はできない ・ 伝言ゲームはできない ・ 運動が苦手な人がいる ・ ボールを回してもらえない人がいる

- ・ アンケート一つ一つを読み取ったら、二つの結果から分かる事実を関係付ける。

- ・ それぞれの案が、アンケート結果のどの部分と関連しているのか、確認できるようにまとめる。

- ・ それぞれの案には、アンケート結果を反映できていない部分（問題点）があることを確認する。

- ・ 関連したアンケート結果（良さ）と、反映できていない事実（問題点）を表にまとめる。

- ・ 話し合い資料を基に、その発言が、どの事実を理由としているのかをつかむ。

- ・ 左の表のようにまとめる。

<p>T 問題点はどのような方法で解決できるか、話し合ってみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">＜A案＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恥ずかしがる人がいるから、グループを作ってはげまし合ったらいいと思います。 ・ 協力できない人がいるから、1人が1つの仕事を担当したらいいんじゃないかな。 ・ 体を動かすことはできないけど、遊びの工夫ができると思うよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">＜B案＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動が苦手な人やボールが回ってこない人がいるから、ルールを工夫したらいいんじゃないかな。意見でも出ていたよ。 ・ 伝言ゲームはできないけど、グループで協力できるような遊びにしたらいいんじゃないかな。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合い資料を参考にしながら、改善策を考えさせる。
<p>話し合い資料を基に、意見の述べ方をつかむ</p> <p>T 一人一人の理由を読み取りましょう。</p> <p>山本さん：資料との関連 ⇒ アンケート①「一」・②「一」 ＜A案＞ 経験したこと ⇒ 前回のイベントでピアノを演奏することができたこと 問題点を補う工夫⇒ なし</p> <p>竹田さん：資料との関連 ⇒ アンケート②「二」・①「二」 ＜B案＞ 経験したこと ⇒ なし 問題点を補う工夫⇒ ルールを変える</p> <p>広川さん：資料との関連 ⇒ アンケート②「二」 ＜A案＞ 経験したこと ⇒ ポートボールをしたとき、上手な人だけがボールを使っていたこと 問題点を補う工夫⇒ みんなで衣しょう作りをする</p> <p>石井さん：資料との関連 ⇒ アンケート②「三」 ＜B案＞ 経験したこと ⇒ なし 問題点を補う工夫⇒ なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合い資料に色別のサイドラインを引き、内容をとらえさせる。 ① 立場 ② 資料との関連 ③ 経験 ④ 問題点の解決策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「立場の表明」⇒「理由」の流れで発言していることを確認する。
<p>T 発言の仕方で良いと思うところを確認してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の立場を言ってから理由を言っているところが良いと思います。 ・ みんな「学級目標を達成するために」という話し合いのねらいに沿って話をしています。 ・ 理由に自分の経験などを入れていると、分かりやすいです。 ・ 理由がアンケート結果や提案資料と結びついているから、分かりやすいです。 	<p>□意見や理由の述べ方をとらえることができたか。</p>

<p>＜2時間目＞話し合い資料を基にして、説得力のある意見の書き方をとらえ、構成メモを作る</p>	
<p>主な学習活動と教師の働きかけ</p>	<p>・留意点 □評価</p>
<p>資料を基に自分の立場を決める。</p> <p>T 資料を参考にしてどちらに賛成するのかを決めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしは 案 に賛成します。(シートに記入) <p>その案を選んだ理由を書き出す。</p> <p>T 説得力のある意見文になるように、その案を選んだ理由を書き出しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考える時間を保障し、自己決定させる。 ・ 前時の学習をふり返り、効果的な意見の述べ方を確認する。
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">〈問題点の解決策〉</p> <p style="text-align: center;">改善することや、自分の経験から書かせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">〈問題点〉</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">〈自分の経験〉</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">〈資料との関連〉</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">わたしは 案に賛成です。</p> <p style="text-align: center;">様々な角度から理由を考えさせるために、二つの項目は必ず書く。</p> </div> </div>	<p>【理由記述シート】</p>

提示された構成を基に、構成メモを作成する。

T 「はじめ」「なか」「おわり」の三部構成の文章を書きます。「なか」の部分にどの順番で理由を書くと説得力が出るかを考えて、構成メモを作りましょう。

<条件>

- ① 理由は二つ以上書くこと。
- ② 理由の一つ以上に、自分の経験や予想を入れること。
 - ・一つ目の理由は、資料と関連させよう。二つ目は経験したこと、三つ目は予想を書こう。
- ③ 双括型で書くこと
 - ・「このように」や「このような理由から」を使って立場を繰り返せばいいんだね。

- ・話し合い資料に出てきた理由も参考にさせ、関係付けて構成してもよいこととする。
- ・文の型を双括型に意識させる。そのために、つなぎ言葉に着目させる。

自分の立場を明確にし、その理由を三つの視点から書き出すことができたか。

	なか		【構成メモ】
おわり	理由③ ・問題点 ・問題点の解決策	理由② ・経験したこと	理由① ・資料と関連
繰り返しの立場の表明の			立場の表明

<3時間目>立場を明確にした意見文を書き、交流する

主な学習活動と教師の働きかけ	・留意点 <input type="checkbox"/> 評価
「構成メモ」を用いて意見文を書く。	・書くことが苦手な児童には、各段落の書き出しを示す。 <input type="checkbox"/> 立場と理由を明確にし、条件を満たした意見文を書くことができたか。 <input type="checkbox"/> 理由の書き方に着目して、互いの意見文を読み合うことができたか。
T 「構成メモ」を使って、説得力のある意見文を書きましょう。 <条件> 340字以上書くこと。	
互いに意見文を読み合って、感想を交流する。	
T 友達同士で文章を読み合い、感想を発言し合ひましょう。	
このように理由から、ぼくはA案の方が積極的にイベントに参加できるので良いと思います。 他にも、「初めて漫才をやったらうまくいった」という意見もあり、A案の方がみんながチャレンジできると思っています。それに漫才やげきにチャレンジすれば、みんなの前ではずかしがらずにせりふを言えるようになると思います。 ぼくはA案に賛成します。なぜなら、A案は自分の特ぎや好きなことを発表する場があって、積極的に学級イベントに参加できるからです。 しかし、A案には、みんなと協力する場が少ないという問題点があります。それを解決するには、必ず二人以上のグループをつくって出し物をするとう良いと思います。そうすれば、友達と話し合う場ができて「仲良く協力」という学級目標を達成することができると思っています。 ぼくはA案に賛成します。なぜなら、A案は自分の特ぎや好きなことを発表する場があって、積極的に学級イベントに参加できるからです。 しかし、A案には、みんなと協力する場が少ないという問題点があります。それを解決するには、必ず二人以上のグループをつくって出し物をするとう良いと思います。そうすれば、友達と話し合う場ができて「仲良く協力」という学級目標を達成することができると思っています。 このようにB案は、学級目標の「仲良く協力」と「だれもがチャレンジ」の両方のねらいを達成することができそうです。だから、わたしはB案の方が良いと思います。 ぼくはB案に賛成です。理由は二つあります。一つ目の理由は、学級アンケートの結果から分かるように、運動をすると仲良くなれたと感じた人が多いからです。 しかし、B案には運動が苦手な人が楽しくチャレンジできないという問題点があります。それを解決するには、ドッジボールなら二回当たったらアウトにするなど、ルールを変えようと思います。 二つ目の理由は、作戦を立てるときにチームで話し合うことが多く、チームワークや協力する良さを学べるからです。もし、だれかが失敗しても、チームではげましてあげればよいと思います。 このようにB案は、学級目標の「仲良く協力」と「だれもがチャレンジ」の両方のねらいを達成することができそうです。だから、わたしはB案の方が良いと思います。	
・理由に問題点の解決方法が書いてあって、説得力があるね。 ・解決方法があると、反対意見の人も納得して聞くことができるね。	